

issue+design、神戸の経験を集め、伝える 震災20年 神戸からのメッセージ発信 特設サイトを開設

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+designは、ユネスコ・デザイン都市に認定されている神戸市と、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案する「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」との協働で、神戸の経験を集め、伝える「震災20年 神戸からのメッセージ発信」事業に取り組んでいます。2014年10月10日、本活動を取りまとめた特設サイトを公開いたします。



震災20年を機に、神戸で生まれた教訓や知恵を集め発信するプロジェクト「震災20年 神戸からのメッセージ発信」では、インタビュー・市民アンケート・ワークショップなどを通して、多くの人々の声を集めています。

この度、開設する特設サイトには、震災以降、震災をきっかけにさまざまな活動を始めた、市内外の人たちのインタビューを記事や動画で紹介、市民アンケートに寄せられた意見やワークショップの様子などを掲載しています。

震災を体験した市民だけでなく、体験していない市民の思いも特設サイトで可視化し、「震災を経験した神戸だからこそできること」を市民とともに考え、発信していきます。

■概要

- 1) 公開 2014年10月10日（金）
- 2) ホームページアドレス <http://1995kobe20th.jp/>



社会の課題に、市民の創造力を。
issue + design
震災15年・ユネスコ・デザイン都市認定記念プロジェクト



■ポイント

【1.より多くの人々が興味を持つような仕掛け。】

インタビュー記事には「職業や性別」、「〇〇な話」といったタグを付けて、読みたい記事にたどりつきやすい仕掛けを採用しました。

【2.震災経験の有無にかかわらず、「震災きっかけ」に着目。】

インタビュー対象者（約60名）は、阪神・淡路大震災がきっかけで社会に役立つ活動を行っている人々です。震災経験の有無にかかわらず、幅広い年代の人々や、多彩な活動を紹介します。

【3.毎週更新、ウェブマガジンスタイル。】

インタビュー記事は毎週2～3本ずつ、来年3月までアップしていきます。アンケート結果も、約10問の項目を視覚的に理解しやすいようにデザインし、順次公開します。

■問い合わせ先

issue+design「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」事務局 担当：寛、白木、岡本、川合、小菅
TEL：03-6441-7752 E-Mail：info@issueplusdesign.jp HP：<http://issueplusdesign.jp>